

平成27年度LCA日本フォーラム総会資料

- 第1号議案 平成26年度活動報告書 資料1
- 第2号議案 平成26年度収支決算書 資料2
- 第3号議案 平成27年度活動計画書 資料3
- 第4号議案 平成27年度収支予算書 資料4
- 第5号議案 平成27年度役員 資料5

参考資料1 平成27年度 専門委員会名簿

参考資料2 LCA日本フォーラム規約

平成27年7月30日
16時00分～17時00分
於：學士会館 302号室

LCA日本フォーラム
事務局：一般社団法人 産業環境管理協会

平成26年度活動実績報告書

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 会議関係活動

1-1. 総会

◇平成26年7月1日 於 學士会館 210号室

平成26年度LCA日本フォーラム役員選任(案)を承認し、平成25年度活動実績報告書(案)、平成25年度収支決算書(案)、平成26年度活動計画書(案)及び平成26年度収支予算書(案)を審議し承認した。

<平成26年度役員(敬称略)>

- | | | |
|---------|--------|---|
| 1. 会長: | 山本 良一 | 東京大学 名誉教授
東京都市大学 環境学部 特任教授 |
| 2. 副会長: | 稲葉 敦 | 工学院大学 工学部 教授 |
| | 足立 芳寛 | 東京工科大学 客員教授 |
| | 古賀 剛志 | 特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構 理事 |
| | 片瀬 裕文 | 経済産業省 産業技術環境局 局長 |
| | 伊勢 清貴 | 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会委員長
トヨタ自動車株式会社 取締役・専務役員 |
| | 小倉 康嗣 | 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
JFE スチール株式会社 代表取締役副社長 |
| | 小川 賢治 | 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 常務執行役員 |
| 3. 監事: | 笠井 清 | 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長 |
| | 二神 龍太郎 | キヤノン株式会社 環境統括センター 環境推進部 部長 |

1-2. 運営委員会

1回開催し、総会付議事項を審議、承認した。

◇第1回 平成26年 6月20日 於 中央大学駿河台記念館 320会議室

出席: 委員 16名、事務局 3名

議案: ・総会付議事項について(審議)

平成25年度活動実績報告書(案)、平成25年度収支決算書(案)、平成26年度活動計画書(案)及び平成26年度収支予算書(案)を審議、承認した。

・各専門委員会、研究会の活動について(報告)

1-3. LCA/DB委員会

3回開催し、LCA日本フォーラムデータベース活用状況の確認と「平成26年度データベース整備事業」(経済産業省 平成26年度グリーン貢献量認証制度等基盤整備事業(持続可能なLCAデータベース運営に向けた調査・検討事業))について報告、検討した。

◇第1回 平成26年 6月12日 於 中央大学駿河台記念館 330会議室

出席: 委員 13名、オブザーバー 3名、事務局 4名

議案: ・平成25年度 JLCA データベース利用・更新実績について

・平成25年度データベース管理手法検討報告

・平成26年度データベース整備事業について

・各工業会の LCA 活動の状況について

◇第2回 合同会議（平成26年度グリーン貢献量認証制度等基盤整備事業(持続可能なLCAデータベース運営に向けた調査・検討事業)検討委員会)

平成26年10月21日 於 エッサム神田ホール 701会議室

出席：委員 15名、オブザーバー 4名、事務局 5名

議案：・METI-DB 事業/JLCA-DB 事業の概要と連携
・持続可能なデータベースの運用方法について

◇第3回 平成27年3月16日 於 エッサム神田ホール 601会議室

出席：委員 13名、オブザーバー 3名、事務局 5名

議案：・平成26年度データベース整備事業の報告
・データベース運営の在り方検討の結果について

1-4. 情報企画委員会

4回開催し、セミナー開催計画、ニュースレター発行計画及び情報発信等の普及活動について検討した。

◇第1回 平成26年 5月29日 於 産業環境管理協会 会議室

出席：委員 7名、事務局 2名

◇第2回 平成26年 9月 8日 於 産業環境管理協会 会議室

出席：委員 9名、事務局 2名

◇第3回 平成27年 2月12日 於 産業環境管理協会 会議室

出席：委員 8名、事務局 2名

(上記共通) 議案：・平成26年度セミナー開催計画と実績報告
・平成26年度ニュースレター発行計画と実績報告
・情報発信、普及活動について

◇第4回 平成27年 3月30日 於 産業環境管理協会 会議室

出席：委員 7名、事務局 2名

議案：LCA日本フォーラム創立20周年記念行事について

1-5. 研究活動委員会

1回開催し、会員間相互の情報交流を目的とした、LCA、環境効率関連をテーマにした研究企画を検討した。1回のメール審議により、新規研究会設置の承認をした。

◇第1回 平成26年 6月 3日 於 産業環境管理協会 会議室

出席：委員 5名、事務局 2名

議案：・平成25年度 研究会活動報告
・平成26年度 新規研究会設置についての検討

◇メール審議 1回 (平成27年 2月)

・新規研究会「組織のLCA」の設置についての承認

1-6. LCA日本フォーラム表彰選考委員会

「平成26年度 第11回LCA日本フォーラム表彰」に関する各賞最終選考を行った。

◇平成26年12月16日 於 産業環境管理協会 会議室

出席：委員 10名、オブザーバー 2名、事務局 3名

議題：・表彰選考WGによる事前審査結果について審議
・第11回LCA日本フォーラム表彰の最終選考審査

1-7. LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

2回開催し、「平成26年度第11回LCA日本フォーラム表彰」に関する募集要項を検討し、応募申請内容の事前審査を行い、その結果をLCA日本フォーラム表彰選考委員会に提出した。

- ◇第1回 平成26年 8月 7日 於 産業環境管理協会 会議室
出席：委員 7名、事務局 2名
議案：・平成25年度第10回LCA日本フォーラム表彰の総括(報告)
・平成26年度第11回LCA日本フォーラム表彰の概要(検討)
- ◇第2回 平成26年12月 5日 於 産業環境管理協会 会議室
出席：委員 6名、事務局 2名
議案：・WG委員による事前審査結果について
- ◇事前審査 委員 8名、応募件数 7件

2. JLCAデータベース管理活動

2-1. データベース運用実績

データベースログイン実績 約1,850件 (前年 約1,950件)
データダウンロード実績 約650件 (前年 約750件)

2-2. データ新規追加・更新状況

■2014年度4版 (2015/1/1-2015/3/31)

日本化学繊維協会 炭素繊維 協会委員会のインベントリデータを1件更新
1 PAN系炭素繊維の製造(天然資源の採掘・採取から炭素繊維製造まで)
CRADLE TO GATE

注) 2015年5月～ 日本化学繊維協会・炭素繊維協会委員会より、データ見直しの申入れがあり、炭素繊維のLCIデータの公開を現在停止中。

2-3. 平成26年度データベース整備事業

平成26年度データベース整備事業は、①工業会データとIDEAの具体的な統合作業、②持続的なデータベース運営の在り方について検討するものであり、平成26年度経済産業省委託事業(「持続可能なLCAデータベース運営に向けた調査・検討事業」)等と連携して実施することが前提とされた。本事業は、産業環境管理協会が平成26年度中に完了する予定として計画され、平成26年度総会で承認された。しかしながら、これら経産省事業等の作業に工数を要し、平成26年度末までに本事業の必要な作業に着手することができなかった。そのため改めて平成26年度の当初計画を、継続事業として平成27年度予算に再計上することが運営委員会に承認された。(平成27年5月に運営委員会書面審議済)

3. 研究会活動

3-1. 「ICT事業の組織のLCA」研究会

◇「ICT事業の組織のLCA」研究会WGメンバー

委員長 松野泰也(東京大学大学院工学系研究科研究科材料工学専攻 准教授)

委員 NTT環境エネルギー研究所

WGメンバー 株式会社NTTデータ

日本電気株式会社

富士ゼロックス株式会社

株式会社日立製作所

富士通株式会社

株式会社東芝

◇「ICT事業の組織のLCA」研究会 実施内容

情報通信技術(Information and Communication Technology, ICT)による企業レベル(企業が提供するサービス全体)での特にCO₂に焦点を当てた環境負荷削減量を推計するための一般的な枠組み、原則、要求事項等を記載したガイドライン「情報通信技術(ICT)事業のCO₂排出削減量の推計」を作成した。

第7回 平成26年 7月14日 於 産業環境管理協会 会議室

第8回 平成26年12月 3日 於 産業環境管理協会 会議室

3-2. 「SCOPE3と組織のLCA」研究会

◇「SCOPE3と組織のLCA」WGメンバー

委員長 稲葉 敦(工学院大学 工学部 環境エネルギー化学科 教授)

委員 本下晶晴(独立行政法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員)

WGメンバー 株式会社 資生堂 旭化成株式会社
三菱電機株式会社 サンメッセ株式会社
富士通株式会社 パナソニック株式会社

アドバイザー みずほ情報総研株式会社

◇「SCOPE3と組織のLCA」研究会 実施内容

「SCOPE3」と「組織のLCA」の計算方法の企業事例作成と計算方法の確立の検討を行った。

1. 平成26年度 LCA日本フォーラム総会記念セミナー(7月開催) 講演発表
(「4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催」参照)
2. 第11回エコバランス国際会議(平成26年10月開催) 研究発表
3. 日本LCA学会誌 Vol.11(2015) 投稿掲載

第6回 平成26年 4月 2日 於 産業環境管理協会 会議室

第7回 平成26年 6月18日 於 産業環境管理協会 会議室

第8回 平成26年 9月 4日 於 産業環境管理協会 会議室

第9回 平成26年12月 4日 於 産業環境管理協会 会議室

3-3. 「容器包装の環境効率」研究会

◇「容器包装の環境効率」WGメンバー

委員長 平尾雅彦(東京大学大学院 工学系研究科 教授)

委員 中谷 隼(東京大学大学院 工学系研究科 助教)

アドバイザー 田崎智宏(独立行政法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター)

WGメンバー 東洋製罐株式会社 株式会社エフピコ
大日本印刷株式会社 レンゴー株式会社
凸版印刷株式会社 サッポロビール株式会社
日本テトラパック株式会社 三笠産業株式会社
旭化成株式会社 三井化学株式会社
一般社団法人プラスチック循環利用協会

◇「容器包装の環境効率」研究会 実施内容

主に機能性評価指標の検討を行い、容器包装の環境効率手法を確立することを目標とする。

【検討内容】

- 1 容器包装の環境効率 概念の整理
- 2 付加価値項目の検討
- 3 環境負荷項目の検討
- 4 コミュニケーション方法の検討

第1回 平成26年 4月 4日 於 産業環境管理協会 会議室

第2回 平成26年 6月10日 於 産業環境管理協会 会議室

第3回 平成26年10月 1日 於 産業環境管理協会 会議室

第4回 平成26年11月13日 於 エッサム神田ホール 601会議室

第5回 平成27年 3月 3日 於 産業環境管理協会 会議室

4. 普及・情報交流活動

4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催

LCA日本フォーラムが主体開催のセミナーを4回、共催開催のセミナーを2回、開催した。

① 平成26年度 LCA日本フォーラム総会記念セミナー

日時： 平成26年 7月 1日

場所： 學士会館 210号室

参加： 180名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容：

特別講演 1 「"Climate Departure"の迫る中、新環境立国戦略を」

LCA日本フォーラム 会長 / 東京大学 名誉教授 山本良一

特別講演 2 「IPCC 第5次評価報告書と今後の国際交渉」

東京大学 教養学部附属教養教育高度化機構 客員教授 山口光恒

【SCOPE3と組織のLCA】研究会 事例発表】

「SCOPE3と組織のLCA 研究会」目的と内容

LCA日本フォーラム 副会長 / 工学院大学 工学部 教授 稲葉 敦

パナソニック「スコープ3 標準カテゴリ2:資本財のリユースに関する考察」

パナソニック株式会社 モノづくり本部 環境・品質センター 本池祥子

三菱電機「カテゴリ11(製品使用時)の算出手法比較分析」

三菱電機株式会社 環境推進本部 内山知重

富士通「ICTソリューション・サービスにおけるカテゴリ11の算定とポジティブインパクト」

富士通株式会社 環境本部 山崎誠也

サンメッセ「アロケーション(按分)における不確実性について」

サンメッセ株式会社 IR/CSR 企画推進室 佐々木弘道

旭化成「企業における水資源消費のサプライチェーン評価」

旭化成株式会社 環境安全部 中橋順一

資生堂「バリューチェーンを通じたGHG排出と水資源利用の評価」

株式会社資生堂 CSR部 環境企画室 大橋憲司

総合討論

座長: 研究会委員長 稲葉 敦(工学院大学 工学部 教授)

② 平成26年度LCA日本フォーラムセミナー<九州開催>

日時： 平成26年10月10日

場所： 西日本総合展示場 314会議室 (「エコテク/2014」併設)

後援： 経済産業省九州経済産業局、北九州市

参加： 50名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)

内容：

基調講演 「LCAの可能性、発展性」

北九州市立大学 国際環境工学部 教授 松本 亨

LCA日本フォーラム表彰10周年記念特別賞:「東芝グループの環境経営」

株式会社東芝 環境推進室長 実平喜好

第10回 LCA日本フォーラム表彰 会長賞 :川崎市 『域外貢献量算定ガイドライン』の策定と

『川崎メカニズム』の構築による低炭素社会の実現に向けた取組

川崎市 環境局 地球環境推進室 担当課長 小林幸雄

第10回 LCA日本フォーラム表彰 会長賞:一般社団法人 日本自動車部品工業会

「自動車部品の環境負荷算定ガイドラインの策定及び算出ツールの開発

株式会社デンソー 安全環境推進部 環境推進室 室長 棚橋 昭

第10回 LCA日本フォーラム表彰 奨励賞:キヤノン株式会社

「ライフサイクルアセスメントを活用したCO2を低減する製品開発プロセスへの取組み」

③ LCAフォーラム表彰「平成26年度第11回LCA日本フォーラム表彰記念講演」

日時： 平成27年 1月29日
場所： イノホール&カンファレンスセンター
参加： 150名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)
内容： 第11回LCA日本フォーラム表彰受賞者 (5. LCA日本フォーラム表彰参照)

④ 平成26年度LCA日本フォーラム/日本LCA学会共催セミナー

「環境マネジメントに関する国際規格、海外の動向」

日時： 平成27年 3月18日
場所： 大手町ファーストスクエアカンファレンス
参加： 150名(フォーラム会員、非会員、講演者、関係者)
内容：
講演1 「サプライチェーンにおける MFCA の国際規格化と実務への影響と可能性について」
関西大学 商学部 教授 中寫道靖
講演2 「ISO14046ウォーターフットプリント」
株式会社東芝 環境推進室 小林由典
講演3 「環境ラベル(エコリーフ/CFP)」
一般社団法人産業環境管理協会 LCA 事業推進センター 根岸華子
講演4 「リコグループにおける LCA 活用事例」
株式会社リコー 環境推進本部 社会環境室 木村祐一
講演5 「バリューチェーン全体におけるサステナビリティ・ダイアログ」
BASF East Asia Regional Headquarters Ltd.
Strategic Marketing & Sustainability, Care Chemicals Asia Pacific 加納潤子
講演6 「SAC(Sustainable Apparel Coalition)への取組」
東レ株式会社 繊維 GR・LI 事業推進室 佐々木康次
報告1 「電子メディア」研究会 活動報告
大日本印刷株式会社 ソーシャルイノベーション研究所 中村洋之
報告2 「LCA データベースの国際協調へ向けた取り組み状況」
一般社団法人産業環境管理協会 LCA 事業推進センター 中野勝行

【共催セミナー】

◇ワークショップ「温室効果ガスの削減貢献量評価」

日時： 平成26年10月31日 場所： 全日通霞ヶ関ビル 会議室
主催： 経済産業省事業
後援： LCA日本フォーラム/日本LCA学会研究会
参加： 100名(講演者、関係者)

◇ワークショップ「欧州環境フットプリントとマルチクライテリア評価の動向」

日時： 平成27年 2月17日 場所： 全日通霞ヶ関ビル 会議室
主催： 経済産業省事業
後援： LCA日本フォーラム
参加： 100名(講演者、関係者)

4-2. JLCAニュースレター発行

下記のとおりニュースレターを発行し、会員及び関係機関に配信した。

◇第66号：平成27年 3月（特集 第11回LCA日本フォーラム表彰 1）

◇第67号：平成27年 3月（特集 第11回LCA日本フォーラム表彰 2）

(5. LCA日本フォーラム表彰参照)

【英語版】

LCA 国家プロジェクトの成果であり、かつ、LCA 日本フォーラムのホームページにおいて公開しているLIMEの英語版の説明資料を、本年度も News Letter 英語版のシリーズとして、引続き下記を発行した。

No.18 LIME2 : Life-cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling

Chapter 2 - Characterization and Damage Evaluation Methods

2.10 Land use

2.11 Resource consumption

2.12 Waste

2.13 Noise (Road Traffic Noise)

No.17 LIME2 : Life-cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling

Chapter 2 - Characterization and Damage Evaluation Methods

2.7 Ecotoxicity

2.8 Eutrophication

2.9 Indoor air pollution

4-3. WEB コンテンツ情報更新、普及活動

◇コンテンツの情報更新

- ・JLCAデータベース：データ新規追加・更新状況
- ・セミナー等のイベント開催案内、開催報告
- ・LCA表彰、研究会等の募集、開催報告

◇メール情報配信 23件

LCA、環境効率関連のニュース、会員からの情報提供、フォーラム主催イベントなどの情報を、会員(ユーザー登録会員)に対して発信した。

5. LCA日本フォーラム表彰

LCA、環境効率に係わる優れた活動を表彰する「第11回LCA日本フォーラム表彰」が実施され、「経済産業省産業技術環境局長賞」、「会長賞」、「奨励賞」、「功労賞」を、下記の通り表彰した。

■平成26年度第11回LCA日本フォーラム表彰

部門	受賞者	活動の名称
経済産業省産業技術環境局長賞		
環境 経営	日本電気株式会社 品質推進本部 環境推進部 環境推進部長 堀ノ内 力	LCA手法を活用したサプライチェーン全体での環境負荷管理(Scope3)
LCA日本フォーラム会長賞		
環境 経営	住友化学株式会社	住友化学のカーボンマネジメント

LCA日本フォーラム奨励賞(5件)		
環境 経営	株式会社アースクリエイト 代表取締役 西宮 祥行	可燃ごみとして扱える炭酸カルシウム配合樹脂製品 の実用化と普及
環境 コミュニケーション	サンメッセ株式会社 代表取締役社長 田中 義一	製品のLCAから組織のLCAへ 情報公開から環境先進企業を目指す
環境 経営	株式会社資生堂 資生堂アメニティグッズ株式会社 資生堂ホネケーキ工業株式会社	環境に配慮したホテル用アメニティ(製品名:泡ふる エコソープ)の販売
環境 経営	東芝グループ 東芝ロジスティクス株式会社 株式会社東芝 環境推進室長	電機・電子製品における包装・梱包材のライフサイク ル評価と活用
環境 経営	日新電機株式会社グループ 日新電機株式会社 代表取締役社長 小畑 英明	製品改善活動に役立つ簡易温暖化評価手法の開発
功労賞(3名)		
荒井 宏昭(元 一般社団法人日本自動車部品工業会 技術部 部長)		
上野 潔(金沢工業大学 客員教授)		
河西 純一(独立行政法人物質・材料研究機構 企画調整室)		

6. 国際対応活動

海外動向調査として以下の国際会議へ専門家を派遣した。

◇国際会議 「第3回LCAデータベース 政府間会合」

日時: 2014年 4月14日~16日

場所: Washington DC, USA

主催: 米国環境保護庁、農務省

派遣者 一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター 主査 中野 勝行
(4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催:④参照)

◇国際会議 「2nd PEF World Summit」

日時:2014年10月1日~2日

場所:ベルリン、ドイツ

主催:PEF World Forum

派遣者 一般社団法人産業環境管理協会 LCA事業推進センター 根岸華子
(4-1. LCA日本フォーラムセミナー開催:④参照)

以上

平成26年度LCA日本フォーラム収支決算書

1 一般事業収支

(単位:円)

	科目	H26年度 予算額	H26年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
1	会費	16,500,000	15,491,000	△ 1,009,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 III = 600,000 @ 30,000 円× 19 工業会 III = 570,000 @ 80,000 円× 6 団体 = 480,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 87 優先企業A = 4,350,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 32 一般企業A = 2,560,000 @ 50,000 円× 17 一般企業B = 850,000 @ 30,000 円× 41 一般企業C = 1,230,000 @ 30,000 円× 47 大学等 = 1,410,000 @ 13,000 円× 47 個人 = 611,000
2	特別DB利用料	140,000	126,000	△ 14,000	@ 7,000 円× 18 LCA学会 = 126,000
3	セミナー参加費	200,000	235,000	35,000	
4	雑収入	4,000	16,542	12,542	利息 3,542 10/21 LCA/DB委員 (合同委員会会場費) 13,000
当期収入合計(A)		16,844,000	15,868,542	△ 975,458	
II	支出の部				
1	委員会関係費	500,000	527,424	27,424	委員謝金 145,000 委員旅費 214,480 会場費 129,700 会議費 38,244
2	研究会活動費	1,500,000	288,270	△ 1,211,730	研究会活動費 ・ICTと組織のLCA 51,180 ・SCOPE3と組織のLCA 86,700 ・容器包装の環境効率 150,390 データベースサーバー保守・管理費 1,256,000 レンタルサーバー利用費 165,357 ホームページ更新・管理費 699,840 DB調査費 (特別収支へ移行) 0
3	システム維持管理費	2,800,000	2,121,197	△ 678,803	講師/関係者 謝金・旅費 854,160 会場費 1,276,364 印刷費 514,069 会議費 549,102
4	セミナーシンポジウム	3,500,000	3,193,695	△ 306,305	委員会、審査関係費 354,260 表彰式、講演会関係費 1,278,820
5	LCA表彰	1,500,000	1,633,080	133,080	翻訳費 721,224 原稿料 154,000 海外調査 502,245 TC207協力金 (H25年度分) 30,000 エコバランス国際会議 500,000 EcoDesign2015 100,000
6	広報誌発行費	1,800,000	875,224	△ 924,776	日本LCA学会 (H25年分) 100,000
7	国際対応活動費	2,030,000	1,132,245	△ 897,755	事業支出額の約20% 1,970,000 事務局人件費の約15% 295,500 実費経費 101,917
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	0	
9	事務局人件費	2,746,000	1,970,000	△ 776,000	
10	事務局経費	600,000	397,417	△ 202,583	
当期支出合計(B)		17,076,000	12,238,552	△ 4,837,448	
当期収支差額 (A-B)		△ 232,000	3,629,990	3,861,990	
前年度繰越金 (C)		6,654,821	6,654,821	0	
次期繰越収支差額 (A-B+C)		6,422,821	10,284,811	3,861,990	

2 特別収支 (システム更新積立金)

(単位:円)

	科目	H26年度 予算額	H26年度 決算額	比較増減	
I	収入の部				
		1,000,000	0	△ 1,000,000	
当期収入合計(D)		1,000,000	0	△ 1,000,000	
II	支出の部				
		9,900,000	0	△ 9,900,000	
当期支出合計(E)		9,900,000	0	△ 9,900,000	
当期収支差額 (D-E)		△ 8,900,000	0	8,900,000	
前年度繰越金 (F)		8,968,700	8,968,700	0	
次期繰越収支差額 (D-E+F)		68,700	8,968,700	8,900,000	

会計監査確認書

平成26年度 LCA 日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

平成27年4月22日

監事

東京都中央区新川1丁目4番1号
一般社団法人日本化学工業協会
技術部

部長

笠井

清



監事

東京都大田区下丸子3丁目30番2号
キヤノン株式会社
環境統括センター 環境推進部

部長

二神

龍太郎



平成27年度活動計画書 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

組織のLCA、ウォーターフットプリントなどのISO規格化動向、欧州委員会における環境フットプリントやGHGプロトコルにおけるScope3の進展、あるいは、自治体・工業会におけるGHG排出量の削減貢献量の取り組みなど、サプライチェーン全体を通じたLCAの活用が国内外に広がっている。

こうした中、LCA日本フォーラム(以下、「JLCA」)は、本年度10月に設立から満20周年の節目を迎える。この節目を迎えるにあたり、平成10年からの第1期LCAプロジェクト以来の成果を広く我が国産業界に一元的に公開し続け、LCAの発展に欠くことのできないLCAデータベース(JLCA-DB)の利便性向上を図るとともに、今後の在り方について広く議論を行い、さらなる発展を期すこととする。

その他、今年度も下記を柱とした活動を行う。

- ① LCAデータベース(JLCA-DB)運営管理及び積極的活用の促進
- ② LCA日本フォーラム表彰の実施
- ③ 情報発信活動としてセミナーの開催(創立20周年記事業を含む)
- ④ LCAと環境効率の研究会活動の活発化
- ⑤ 国際動向の積極的な調査

1. 事業内容

1-1. JLCA-DB活用促進及び運営管理に係わる活動の実施

工業会データとIDEAの一体的な運用の検討を進めるために、下記の事業を予定している。第一段階として工業会データとIDEAの具体的な連結作業を工業会と協働で実施する。連結データは工業会の了解を得たものをデータベース委員会の確認のうえで、フォーラム会員向けに公開する。以上の作業は産業技術総合研究所と産業環境管理協会が実施する。第二段階として、連結作業を通じて抽出された課題と工業会の意向の整理、データベース運用案の作成を行い、運営委員会において検討を進め、来年度以降の具体的な運用スキーム案の構築と移行を目指す。

1-2. LCA表彰事業活動の実施

- ① 日本国内のLCAと環境効率に係わる優れた活動および製品・サービスを表彰する。
経済産業省産業技術環境局長賞
LCA日本フォーラム会長賞
LCA日本フォーラム奨励賞
功労賞
- ② 表彰式 受賞者の表彰式と表彰記念講演会を実施する(平成28年1月)

1-3. 情報発信活動の実施

- ① LCAと環境効率に関連したセミナーを3回程度開催する。

- 創立20周年記念シンポジウム・祝賀会(10月28日)
 - 第12回LCA日本フォーラム表彰記念講演会(平成28年1月)
 - 海外動向、国際規格等の関心度の高いテーマを選定(平成28年3月)
- ② LCAと環境効率に関連した情報掲載の「フォーラムニュース」を4刊程度発刊する。
 - ③ ホームページのコンテンツの充実を図る。会員限定サービスを検討する。
 - ④ メールマガジン等により、LCAと環境効率に関連する情報を提供する。

1-4. 研究会活動の実施

- ① 平成26年度に引続き、下記の研究会活動の継続を実施する。
 - 「ICT事業の組織のLCA」研究会
 - 「容器包装の環境効率」研究会
 - 「組織のLCA」研究会
- ② 研究活動委員会にて新規1~2件程度の研究会を設置し、WGメンバーを公募にて募集し、各研究会の委員長を中心に研究会を実施する。

1-5. 国際動向調査と国際会議等への協力

- ① 国際動向調査としての国際会議へ専門家を派遣する。
- ② 国際会議、学術会議等への協力
 - TC207
 - 日本LCA学会
 - エコバランス国際会議準備等

2. 年間スケジュール予定

2-1. 委員会

- ① 通常総会 年1回 (7月30日)
- ② 運営委員会 年2回程度 (7月、3月)
- ③ LCA/DB 委員会 年3回程度 (6月、10月、2月)
- ④ 情報企画委員会 年3回程度 (7月、11月、3月)
- ⑤ 研究活動委員会 年1回程度 (10月) またはメール審議
- ⑥ 表彰選考委員会 年1回程度 (最終選考12月)
- ⑦ 表彰選考ワーキンググループ 年2回程度(6月、11月)

2-2. 情報発信

- ① シンポジウム・セミナー開催 年3回程度 (10月、1月、3月)
- ② ニュースレター発刊 年4回程度 (10月~2月)
- ③ ホームページ更新(ニュース配信随時、コンテンツ改訂等)

以上

平成27年度LCA日本フォーラム収支予算書

1 一般事業収支

(単位:円)

	科目	H26年度 予算額	H26年度 決算額	H27年度 予算額	
I	収入の部				
1	会費	16,500,000	15,491,000	15,491,000	@ 100,000 円× 19 工業会 I = 1,900,000 @ 400,000 円× 2 工業会 II = 800,000 @ 600,000 円× 1 工業会 II = 600,000 @ 30,000 円× 19 工業会 III = 570,000 @ 80,000 円× 6 団体 = 480,000 @ 100,000 円× 1 学術組織 = 100,000 @ 50,000 円× 87 優先企業A = 4,350,000 @ 30,000 円× 1 優先企業B = 30,000 @ 80,000 円× 32 一般企業A = 2,560,000 @ 50,000 円× 17 一般企業B = 850,000 @ 30,000 円× 41 一般企業C = 1,230,000 @ 30,000 円× 47 大学等 = 1,410,000 @ 13,000 円× 47 個人 = 611,000 @ 7,000 円× 20 LCA学会 = 140,000
2	特別DB利用料	140,000	126,000	140,000	
3	セミナー参加費	200,000	235,000	200,000	
4	雑収入	4,000	16,542	4,000	利息 4,000
当期収入合計(A)		16,844,000	15,868,542	15,835,000	
II	支出の部				
1	委員会関係費	500,000	527,424	500,000	委員謝金 150,000 委員旅費 200,000 会場費 100,000 会議費 50,000
2	研究会活動費	1,500,000	288,270	1,500,000	研究会活動費 1,500,000 継続の研究会: 3件 新規研究会: 2件
3	システム維持管理費	2,800,000	2,121,197	5,900,000	データベースサーバー保守・管理費 1,000,000 レンタルサーバー利用費 200,000 ホームページ更新・管理費 700,000 システム更新積立費 (特別収支へ移行) 4,000,000
4	セミナー・シンポジウム	3,500,000	3,193,695	4,500,000	講師謝金・旅費 800,000 会場費 2,000,000 印刷費 700,000 会議費 1,000,000
5	LCA表彰費	1,500,000	1,633,080	1,900,000	委員会、表彰式、講演一式 1,900,000
6	広報誌発行費	1,800,000	875,224	2,000,000	原稿料・原稿作成費 1,000,000 翻訳費 1,000,000
7	国際対応活動費	2,030,000	1,132,245	1,530,000	海外調査 1,000,000 TC207協力金 (H27年度分) 30,000 エコバランス国際会議協力金 500,000
8	日本LCA学会会費	100,000	100,000	100,000	日本LCA学会 (H27年分) 100,000
9	事務局人件費	2,746,000	1,970,000	3,000,000	事業支出額の約20% 3,000,000
10	事務局経費	600,000	397,417	650,000	事務局人件費の約15% 450,000 実費経費 200,000
当期支出合計(B)		17,076,000	12,238,552	21,580,000	
当期収支差額 (A-B)		△ 232,000	3,629,990	△ 5,745,000	
前年度繰越金 (C)		6,654,821	6,654,821	10,284,811	
次期繰越収支差額 (A-B+C)		6,422,821	10,284,811	4,539,811	

2 特別収支 (システム更新積立金)

(単位:円)

	科目	H26年度 予算額	H26年度 決算額	H27年度 予算額	
I	収入の部				
		1,000,000	0	4,000,000	
当期収入合計(D)		1,000,000	0	4,000,000	
II	支出の部				
	LCAデータベース事業費	9,900,000	0	7,200,000	事業委託費 サーバー・ホームページ更新作業費
当期支出合計(E)		9,900,000	0	7,700,000	
当期収支差額 (D-E)		△ 8,900,000	0	△ 3,700,000	
前年度繰越金 (F)		8,968,700	8,968,700	8,968,700	
次期繰越収支差額 (D-E+F)		68,700	8,968,700	5,268,700	

平成27年度LCA日本フォーラム役員

(敬称略)

会長:

山本 良一 東京大学 名誉教授
東京都市大学 環境学部 特任教授

副会長:

稲葉 敦 工学院大学 工学部 教授

足立 芳寛 東京工科大学 客員教授

古賀 剛志 特定非営利活動法人エコデザイン推進機構 理事

片瀬 裕文 経済産業省 産業技術環境局 局長

伊勢 清貴 一般社団法人日本自動車工業会 環境委員会 委員長
トヨタ自動車株式会社 取締役・専務役員

(新) 丹村 洋一 一般社団法人日本鉄鋼連盟
環境・エネルギー政策委員会 委員長
JFEスチール株式会社 代表取締役副社長

(旧) 小倉 康嗣 JFEスチール株式会社 代表取締役副社長

小川 賢治 一般社団法人日本経済団体連合会
環境安全委員会 廃棄物・リサイクル部 部会長代行
太平洋セメント株式会社 取締役 専務執行役員

監事:

笠井 清 一般社団法人日本化学工業協会 技術部 部長

二神 龍太郎 キヤノン株式会社 環境統括センター 環境推進部 部長

平27年度 LCA日本フォーラム 運営委員会委員名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属/役職	
1	委員長 稲葉 敦	工学院大学	先進工学部 環境科学科	教授
2	副委員長 古賀 剛志	特定非営利活動法人 エコデザイン推進機構	理事	
3	副委員長 田村 一之	一般社団法人日本鉄鋼連盟	技術・環境本部	本部長
4	副委員長 南原 智彦	三菱電機株式会社	環境推進本部	本部長
5	委員 足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会 東京工科大学	副会長 客員教授	
6	委員 石谷 久	東京大学	名誉教授	
7	委員 國部 克彦	神戸大学	大学院 経営学研究科	教授
8	委員 平尾 雅彦	東京大学	大学院工学系研究科 化学システム工学専攻	教授
9	委員 水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
10	委員 伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
11	委員 成田 暢彦	名古屋産業大学	環境情報ビジネス学部	学部長 教授
12	委員 前田 泰史	一般社団法人日本ガス協会	環境部	部長
13	委員 筒井 将年	一般社団法人日本自動車部品工業会	技術部	上席次長
14	委員 佐藤 実	一般社団法人電子情報技術産業協会	環境部	部長代理
15	委員 笠井 清	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
16	委員 古條 克幸	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会	環境部	担当部長
17	委員 吉良 雅治	一般社団法人日本産業機械工業会	産業機械第一部 兼 技術部	部長
18	委員 小竹 忠	一般社団法人日本自動車工業会	環境統括部	統括部長
19	委員 佐野 正之	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会	環境・省エネ部	担当部長
20	委員 葉石 善一	一般社団法人日本建設業連合会		常務執行役
21	委員 細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
22	委員 松浦 弘之	一般社団法人日本ガス石油機器工業会	事務局長	
23	委員 中野 直男	一般社団法人日本アルミニウム協会	理事	
24	委員 笠原 隆男	石油化学工業協会	業務部 兼 企画部	担当部長
25	委員 三浦 安史	石油連盟	技術環境安全部	統括グループ長
26	委員 岡峰 克幸	電気事業連合会	立地環境部	副部長
27	委員 大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	理事 環境委員長	
28	委員 小野寺 浩幸	株式会社日立製作所	CSR・環境戦略本部	副本部長
29	委員 竹山 典男	株式会社東芝	生産企画部 環境推進室	参事
30	委員 端谷 隆文	富士通株式会社	環境本部	シニアディレクター
31	委員 二神 龍太郎	キヤノン株式会社	環境統括センター 環境推進部	部長
32	委員 秋山 佳春	日本電信電話株式会社	ネットワーク基盤技術研究所 環境基盤プロジェクト	プロジェクトマネージャー
33	委員 小浦 克之	経済産業省 産業技術環境局	環境政策課 環境調和産業・技術室	室長

平成27年度 LCA日本フォーラム LCA/DB委員会名簿

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	平尾 雅彦	東京大学	大学院工学系研究科 化学システム工学専攻	教授
2 副委員長	小野 透	新日鐵住金株式会社	技術総括部	上席主幹
3 委員	原田 幸明	国立研究開発法人物質・材料研究機構	元素戦略材料センター	特命研究員
4 委員	松野 泰也	東京大学	大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	准教授
5 委員	田原 聖隆	国立研究開発法人産業技術総合研究所	安全科学研究部門	グループ長
6 委員	笠井 清	一般社団法人日本化学工業協会	技術部	部長
7 委員	齋藤 潔	一般社団法人日本電機工業会	環境部 地球環境保全第一課	課長
8 委員	細川 浩之	一般社団法人セメント協会	生産・環境部門	リーダー
9 委員	棚橋 昭	一般社団法人日本自動車部品工業会 株式会社デンソー	安全環境推進部 環境推進室	室長
10 委員	金子 一彦	一般社団法人日本産業機械工業会 株式会社荏原製作所	企業リスク管理統括部 環境推進室 環境企画グループ	グループ長
11 委員	新木 正一	一般社団法人日本ガス協会	環境部 地球環境グループ	マネジャー
12 委員	野村 正義	昭和電工株式会社	技術本部 環境安全室	スタッフマネージャー
13 委員	齋藤 学	一般社団法人電線総合技術センター	研究開発グループ	主査研究員
14 委員	長縄 肇志	塩ビ工業・環境協会	技術部	部長
15 委員	久保 昌史	日本鋳業協会	技術部兼環境保安部	次長
16 委員	野口 計	ステンレス協会 日新製鋼株式会社	技術総括部 環境・省資源推進室	室長
17 委員	竹内 仁	一般社団法人日本建設業連合会 株式会社安藤・間	技術本部 技術研究所 先端・環境研究部	担当課長

平成27年度 LCA日本フォーラム情報企画委員会

(順不同・敬称略)

	氏名	組織名	所属	役職
1 委員長	伊坪 徳宏	東京都市大学	環境学部 環境マネジメント学科	教授
2 委員	和泉 昭宏	一般社団法人プラスチック循環利用協会	調査研究部	環境影響評価部長
3 委員	長谷川 浩	大日本印刷株式会社	環境安全部	シニアエキスパート
4 委員	中橋 順一	旭化成株式会社	環境・安全部	副部長
5 委員	前川 均	株式会社日立製作所 情報・通信システム社	経営戦略室 環境推進本部 環境戦略センタ	シニアエキスパートスタッフ
6 委員	端谷 隆文	富士通株式会社 (日本LCA学会 企画委員会委員長)	環境本部	シニアディレクター
7 委員	木村 祐一	株式会社リコー	環境推進本部 社会環境室 企画グループ	スペシャリスト
8 委員	菊池 康紀	東京大学 化学システム工学専攻(兼任)	統括プロジェクト機構 「プラチナ社会」総括寄付講座	特任講師
9 委員	吉村 祐美	東洋製罐株式会社	環境・品質保証本部 環境部	
10 委員	大橋 憲司	株式会社資生堂	CSR部 環境企画室	
11 委員	小野 光司	日本生活協同組合連合会	環境事業推進部	

平成27年度 LCA日本フォーラム研究活動委員会

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	水谷 広	日本大学	生物資源科学部	教授
2	委員	伊香賀 俊治	慶應義塾大学	理工学部 システムデザイン工学科	教授
3	委員	醍醐 市朗	東京大学	大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻	特任准教授
4	委員	竹山 典男	株式会社東芝	環境推進部 製品環境推進担当	グループ長
5	委員	小松 郁夫	東洋製罐株式会社	環境品質保証・資材本部 環境部	課長

平成27年度 LCA日本フォーラム表彰委員会

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属/役職	
1	委員長	石谷 久	東京大学	名誉教授	
2	副委員長	足立 芳寛	一般社団法人機械振興協会東京工科大学	副会長 客員教授	
3	副委員長	小川 賢治	太平洋セメント株式会社	取締役 専務執行役員	
4	委員	池田 三知子	一般社団法人日本経済団体連合会	環境本部長	
5	委員	内山 洋司	筑波大学	名誉教授	
6	委員	國部 克彦	神戸大学大学院	経営学研究科	教授
7	委員	竹本 裕介	日刊工業新聞社	取締役 編集局長	
8	委員	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	理事 環境委員長	
9	委員	小浦 克之	経済産業省 産業技術環境局	環境政策課 環境調和産業・技術室	室長
10	委員	傘木 和俊	一般社団法人産業環境管理協会	執行理事	

平成27年度 LCA日本フォーラム表彰選考ワーキンググループ

(順不同・敬称略)

No		氏名	組織名	所属	役職
1	委員長	成田 暢彦	名古屋産業大学	環境情報ビジネス学部	学部長 教授
2	委員	中畠 道靖	関西大学	商学部	教授
3	委員	宇郷 良介	湘南工科大学	工学部 人間環境学科	教授
4	委員	芝池 成人	東京工科大学	工学部 機械工学科	教授
5	委員	玄地 裕	国立研究開発法人産業技術総合研究所	総務本部 人事部 人材開発企画室	室長
6	委員	端谷 隆文	金沢工業大学大学院 富士通株式会社	工学研究科環境本部	客員教授 シニアディレクター
7	委員	根村 玲子	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会	環境委員	

LCA日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、LCA日本フォーラム（以下「フォーラム」という。）と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、我が国におけるLCA情報センターの役割を果たすことを目的として、経済産業省プロジェクトとして構築されたLCAデータベース（以下、「データベース」という。）の管理運営を行うとともに、学際的、業際的視点に立ち、ライフサイクルアセスメント（以下「LCA」という。）の研究の成果および情報の集積、LCA関係者間の交流促進、並びにLCAの啓発・普及活動を推進することとする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) LCAデータベースの維持管理の運営
- (2) 会員へのLCA関連情報提供
- (3) 会員間の交流活動としてのセミナー等の開催および国際交流の実施
- (4) LCA研究の場の提供およびLCA標準化への貢献
- (5) 前各号のほか、目的達成に必要な事業

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、工業会Ⅰ会員、工業会Ⅱ会員、工業会Ⅲ会員、団体等会員、学術組織会員、優先企業会員、工業会Ⅱ登録企業会員、一般企業会員、大学研究室等会員および個人会員とする。

- 2 工業会Ⅰ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力し、利用経費部分については工業会会員企業の自由意思に任せる工業会。
- 3 工業会Ⅱ会員は、データベース構築に協力した工業会であって、基本経費部分に協力するとともに、当該工業会会員企業のデータベース利用経費部分について工業会として協力する工業会。
- 4 工業会Ⅲ会員は、データベース構築に協力した工業会の内、年間事業規模が別に定める額以下の工業会であって、基本経費部分に協力する工業会。
- 5 団体等会員は、データベース構築に参画しなかった工業会、国公私立の研究機関等であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 6 学術組織会員は、フォーラムの目的および活動に賛同し、基本経費部分に協力する組織。
- 7 優先企業会員は、工業会Ⅰ会員の会員企業であって、データベース利用を行う企業。
- 8 工業会Ⅱ登録企業会員は、工業会Ⅱ会員により登録された企業であって、データベース利用を行う企業。
- 9 一般企業会員は、工業会Ⅰ会員および同Ⅱ会員いずれの工業会の会員企業でなく、基本経費部分に協力するとともにデータベース利用を行う企業。
- 10 大学研究室等会員は、大学の研究室およびそれに準じるグループ又は非営利組織であって、基本経費部分に協力するとともに、自らのLCA活動としてデータベース利用を行う組織。
- 11 個人会員は、いずれの組織に属さない個人であって、基本経費部分に協力するとともに、データベース利用を行う者。

(会費)

第5条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、運営委員会の承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。

3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとします。

- (1) 法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2) 死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3) 会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。
- (除名)

第7条 会員が別に定めるLCAデータベース運用規則又は会費規則に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1) 会長1名および副会長若干名
 - (2) 監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
 - 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
 - 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。
 - 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
 - 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(総会)

第9条 総会は会員をもって構成する。

- 2 総会は、会長、副会長および監事の選任、事業計画、予算・決算の承認、その他重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、毎年1回以上開催する。
- 4 総会は、構成員の2分の1以上の出席をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。

(運営委員会)

第10条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
 - (2) 副委員長 1名
 - (3) 委員 約20名
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員の内から会長が選任する。
 - 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、委員会に付議する事項を審議する。
 - 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
 - 5 第8条第6項の規定およびただし書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
 - 6 第9条第4項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(部会および委員会)

第11条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会および専門委員会を置くことができる。

(事務局)

第12条 フォーラムの事務局は、社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第13条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成7年10月25日より施行する。
2. この規約の改正は、平成16年4月1日より施行する。
3. この規約の改正は、平成17年4月1日より施行する。